



特集 倶知安高校野球部 春の全道大会で躍動！

**倶知安の歴史に残る快挙
原動力は「地域への感謝」**

第65回春季北海道高校野球大会において、倶知安高校野球部が、48年ぶりとなる春の全道大会出場を果たしました。

5月27日㈫に行われた一回戦では、7対4で網走南ヶ丘高校を下し、春の全道大会初勝利を挙げました。翌日の二回戦、旭川志峯高校に5対3で敗れたものの、見事全道ベスト8という結果を残しました。

倶知安高校野球部は、3年生4名、2年生7名、1年生11名、マネージャー2名の計24名で構成されており、そのうち14名が町内の中学校出身です。

今年度は部員が大幅に増え、選手層が厚くなりました。その背景には、倶知安高校野球部が令和5年から取り組む地域貢献活動も影響しています。

この活動は、倶知安高校野球部が、町内のさまざまな野球チームに所属する子どもたちと合同で町内のごみ拾いを行い、最後にキャッチボールをして交流するという取り組みで、チームや年齢の垣根を越えた繋がりが生まれ、子どもたちにとっては、地域や人との繋がりをを感じる貴重な機会となっています。

倶知安高校野球部の三浦良介監督

監督が、町内で野球をしている小中高生の縦の繋がりを作りたいと声を上げ実現したこの活動は、今では子どもたちだけではなく後志管内の社会人野球チームも参加するなど、野球を通じた交流の輪は年々広がっています。

倶知安高校野球部が大切にしていることについて尋ねると、三浦監督や選手たちが声を揃えて「応援されるチームであること」「地域への感謝」と話していました。地域や応援してくれる人を大切にする選手たちの純粋な姿が、たくさんの声援に繋がっており、今回の結果を引き寄せたのでしょうか。

これまでの経験やたくさんの応援を自信に変えて、夏の大会でさらに躍動できるよう、皆さんで応援しましょう。



倶知安町役場へ表敬訪問（6月1日）

3年生が倶知安町役場を訪れ、全道大会出場と初勝利を報告し、地域の方々からの応援に対する感謝を伝えました。報告会には野球部OBも参加し、選手たちへ激励の言葉をかけました。

今回の大会では、野球部OB、卒業生をはじめ、地域の方々からたくさんの応援をいただきました。スタンドに駆けつけてくださった方もいて、本当にありがたい町だと感じました。

倶知安野球部はとにかく素直なチームです。教わったことを受け止め、すぐに挑戦しようとする姿勢、周囲からの期待を自信に変えられるところは大きな強みだと思います。

昨年の大会後にミーティングを行い、「地域貢献活動やボランティア、学校生活などの全てが、球場での最後の粘りに繋がる」という話をしました。実力だけではなく、地域に愛され、応援されるチームであることが全ての土台となると信じ、地道に伝えてきたことが、今回、実を結んだと感じています。

**地域への感謝を忘れずに
愛される選手であってほしい**



監督 三浦 良介 さん
令和2年から野球部の監督を務める

監督としてのモットーは「試合は楽しく」。苦しい、つらいことを乗り越え、試合は思いきり楽しむ。選手たちには野球のおもしろさを存分に感じてほしいです。

3年生4人は、二度の冬を越えてたくましくなりました。素直で優しい選手たちですが、彼らの野球に対する強い熱意は、後輩たちにも伝わっていると思います。彼らの考えていることはよく分かれますし、信頼しています。夏の大会で赤い倶知安旋風を巻き起こせたら、また一ついい思い出ができるのではないのでしょうか。彼らには、最後まで野球を楽しんでほしいです。

夏のスローガンは「サンキュー」です。感謝の気持ちを忘れずに、彼らと一緒に甲子園を目指します。

もう一歩だったという悔しさもありますが、たくさんの応援をいただきながら野球ができ、結果に繋がったことは素直にうれしかったです。この経験を糧にして、それぞれの課題の克服、打撃の向上、そして投手陣の質も高めていきたいと思っています。

今年、多くの1年生が入部したことで、練習の幅が広がり、実践形式の練習

大会期間中は、野球部OBをはじめ、地域の方々にとくさんの応援をいただき、選手一同、全力でプレーすることができました。

春に向けて、とにかくバットを振ってきました。これはどのチームにも負けない自信があったので、試合でも思いきってバットを振ることができ、得点に繋がったと思います。

一方で、プレッシャー

**春の経験を糧に
夏は甲子園へ**

投手 松田 晴人 さん(3年)

ができるようになりました。その結果、試合で同じ状況になったときに落ち着いてプレーすることができました。

春の大会では、全校応援や吹奏楽部の演奏をはじめ、地域の方々からたくさんの応援が届けられました。「愛される強さ」を自分たちの強さにして、夏は甲子園を目指します。



のかかる場面で守備のミスが目立ったので、ここぞという場面です。自分たちのプレーができるよう、練習の数をこなしていきたいです。

春の大会を通じて、甲子園という夢が、ようやく霧が晴れて見えてきた実感があります。今回の経験を自信に変えて、夏の大会では、自分たちを応援し、支えてくれた人たちに野球で恩返ししたいと思います。

**積み重ねた練習を自信に
野球で恩返しを**

主将 池田 大峨 さん(3年)

スポーツの好きなところ
今頑張っていること
これからの目標などを聞きました

特集

スポーツを頑張る くっちゃん子



各少年団では団員・指導者を募集しています
興味のある方はお問い合わせください

現在、町には10のスポーツ少年団が存在しています。近年は、指導者不足や団員不足のため、合同チームを結成し、大会に参加する団体も見られるようになりましたが、地域の方々の協力のもと、学校も年齢も異なる子どもたちが互いに協力しあい、切磋琢磨しながら成長できる少年団活動は、子どもたちだけでなく、地域にとっても大きな役割を担っています。

そして、町内にはスポーツ少年団のほか、クラブチームをはじめとするさまざまな団体が活動しており、たくさん子どもたちがスポーツに取り組んでいます。

今回は、その中から5つのスポーツ少年団の子どもたちにお話を聞きました。

俱知安で育つ子どもたちの学びと活躍の場を今後も残していけるように、目標に向かって頑張るくっちゃん子と一緒に応援しましょう。



阿部 岳瑠 さん (中学1年)

「得点したとき、勝ったときの達成感がうれしいです。後輩が活躍していると負けていけないと思うし、自分も先輩に勝ちたいという気持ちになるので、学年を越えて一緒に練習できるのは少年団の良さだと思います。」



俱知安バドミントン少年団

小学1～中学3年生 28名
毎週木曜日
岡押尾 ☎ 080 - 3170 - 4541



大森 虹湖 さん (小学6年)

「声を出すことや、強く打つことを心がけて練習しています。先輩がアドバイスをくれるので、とても勉強になります。小学生として最後の1年、悔いのないように頑張ります。」



俱知安バスケットボール少年団

小学1～6年生 36名
毎週水・金曜日
岡新保 ☎ 090 - 4875 - 1809



加藤 叶羽 さん (小学6年)

「チームの雰囲気は明るく、みんなで声を掛け合って練習しています。自分は最後の一年なので、キャプテンとしてチームのことを考えながら、ディフェンスや玉運びに力を入れ、全道大会出場を目指して頑張ります。」

木村 風沙 さん (小学6年)

「連携を大切にしているので、試合でチームプレーが上手にかみ合って得点に繋がったときが一番うれしいです。ドライブなどの技術を磨きながら、全道ベスト8を目標に、チームをまとめていきたいです。」



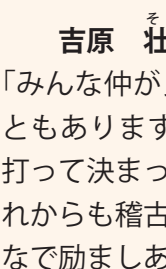
下村 鞠乃 さん (中学3年)

「剣道は個人競技ですが、励ましあいながら稽古できるところが少年団の良さだと思います。試合のような気持ちで稽古に取り組み、全道大会で活躍し、全国大会に出場したいです。」



俱知安剣道少年団

小学1～中学3年生 17名
毎週火・木・土曜日
岡田中 (二セコ環境) ☎ 22 - 0745



吉原 壮汰 さん (小学3年)

「みんな仲が良く、先輩に教えてもらうこともあります。稽古も試合も好きですが、打って決まったときが特に楽しいです。これからも稽古を頑張って、団体戦ではみんなで励ましあって勝ちたいです。」



俱知安スイミング

小学1～高校2年生 16名
毎週火・木曜日
岡星 ☎ 080 - 4372 - 7511



押尾 有朔 さん (高校2年)

「今は競技をしていませんが、水泳が好きなので指導者として参加しています。教えることは得意ではないですが、これまでコーチに教わってきたことや自分の感覚を上手く言葉にして、伝えることを大切にしています。一人でも多くの仲間が増えてくれるとうれしいです。」

星 雄心 さん (中学1年)

「自分の納得のいく泳ぎができるよう練習をしています。大会で良い成績を残せるよう、スピードを意識しながらこれからも練習を続けていきたいです。」



宮武 利亘 さん (小学6年)

「サーブを上手くとれるよう、心がけて練習しています。みんなでボールを繋いで点をとる楽しさがバレーボールの魅力です。男子が少ないですが、これからも楽しく練習を頑張ります。」

追立 一加 さん (小学6年)

「サーブやスパイクを強く打つことを意識しながら練習しています。少年団では違う学年の子と一緒に練習することができて楽しいです。バレーボールが好きなので、これからも続けていきたいです。」



俱知安バレーボール少年団

小学2～6年生 13名
毎週月・木・金曜日
岡井下 ☎ 090 - 4856 - 1519